

## 広域化方策の課題と対応策

### 方策実施前の課題

#### 整備方針

- ・方策実施等の基本方針の決定が個々の事業者では難しい
- ・施設の統廃合のあり方(自己水源の扱い、簡易水道施設対象の可否等)の検討

#### 職員配置

- ・管理の一体化における実務的な削減人員の検討
- ・上下水道が一緒の組織体制があり、今後のあり方の検討

#### 費用負担

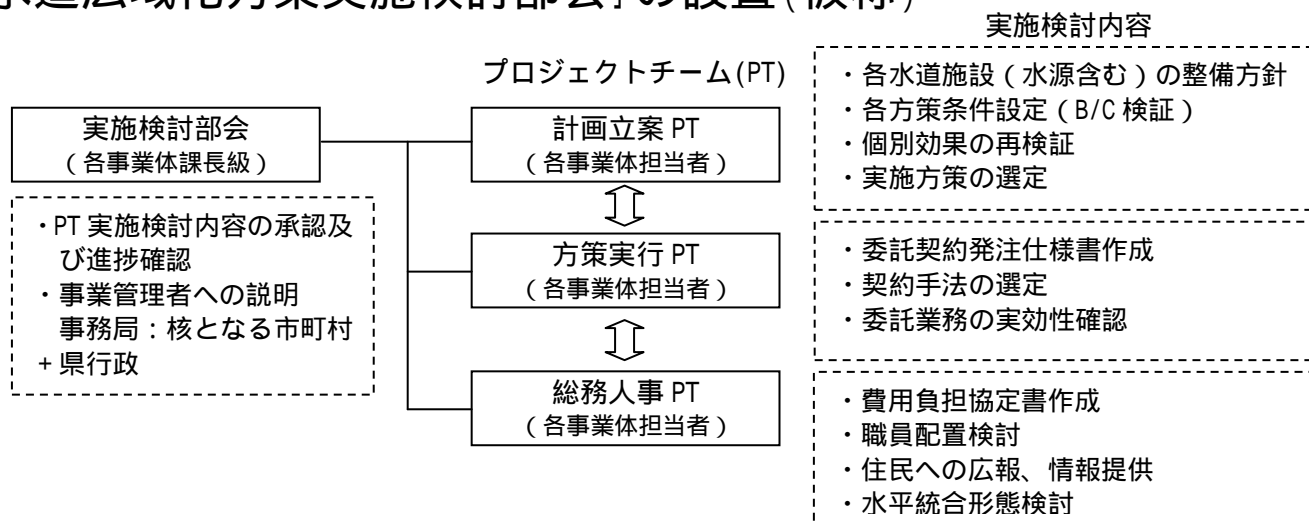
- ・方策による効果の按分ルール作りが必要
- ・集中監視システム導入の初期費用の確保

#### 発注仕様

- ・管理の一体化におけるメーカー、導入形態(リース、買取り)の違い等の調整

### 対応策

## ブロック別「水道広域化方策実施検討部会」の設置(仮称)



# 方策を実現する上での課題

## 技術力の確保

- ・第三者委託による浄水場維持管理業務の検証体制の確保
- ・DBO等のノウハウの蓄積

## 県水の体制

- ・県内水道1本化に向けた給水システムの検証
- ・直送給水に係る責任分界点の整理
- ・総合的な水運用の調整
- ・停電、漏水等の危機管理面の強化

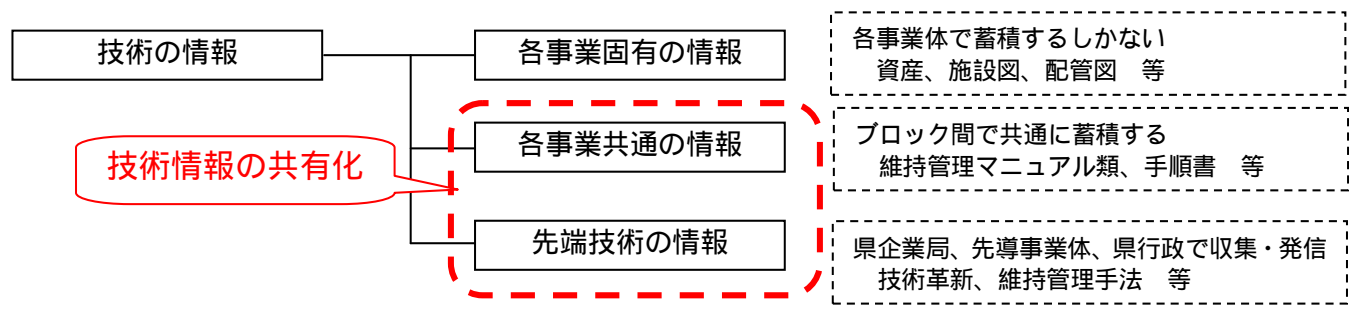
## 制度上の問題

- ・広域化誘導策(管理の一体化の集中監視装置等)に係る国庫補助制度の創設
- ・共同浄水場の水利権の集約



対応策

・技術力の確保 → 技術情報の共有化、管理監督の研修、県企業局との連携等



・県水の体制 → 危機管理や将来の水運用、環境面を考慮した供給システムの構築

・制度上の問題 → 県行政がイニシアティブをとり国への補助金創設要望及び調整補助金の代替手段の検討(PFI等の民間活力の活用)

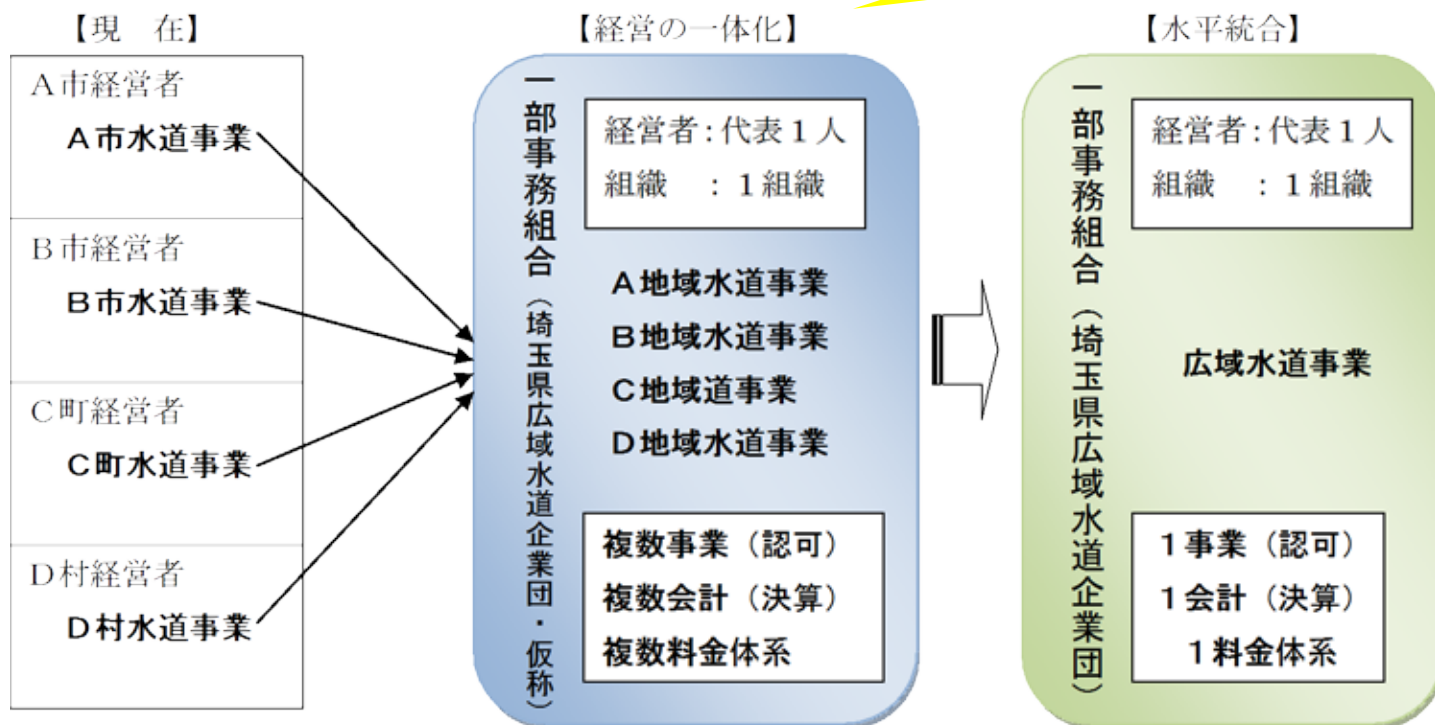
# 段階的な目標を推進する上での課題と対応策

- ・広域化の必要性については概ね共通認識が醸成されているが、
- ・事業統合の時期について、事業体間で温度差がある
- ・核となる1事業体が中心に推進していくのが困難 等

## 対応策

- ・現在の事業形態はそのまま、料金統一もいない
- ・各市町村が構成員となり、構成員の代表議会または各議会で審議→住民の意見等も反映
- ・1組織なので人的な効率化は図られる

## 一部事務組合設立による推進



ソフト統合期間で一部事務組合化できれば、事業統合がより推進される